

沖縄発・ユーザー志向の 医工IT創成人材の育成プログラム (ちゅらめどプログラム) 2025

9月初旬開講

受講生 募集!

一般社会人向け

医療×ものづくり×ITが連携し、
医療の課題を技術で解決できる
産業創生人材を育成するプログラム

プログラムのフォーカス

IoTやAIなどの技術革新により、医療・ヘルスケア業界も大きな変革期を迎えています。中でも医療機器や医療プログラム (SaMD) は、国内市場が2050年には3兆円から21兆円に拡大すると予測されています。

本プログラムでは、大学・行政・企業が連携し、医療現場のニーズに基づく製品開発を支援する実践型研修です。特に県内中小企業にとっては、大学の知見や行政支援を活用できる好機であり、新規参入を目指すスタートアップに最適な育成プログラムです。

募集期間

7月16日▶8月7日

定員25名 受講無料

自分の業務や時間に合わせて受講しやすい
オンデマンド研修と、実践的な経験となる
対面研修で実施
修了要件：60時間以上の受講、プレゼン

お問合せ先：琉球大学医学部 先端医学研究センター内 ちゅらめど事務局（担当：宮城）

〒901-2720 沖縄県宜野湾市字喜友名1076番地

連絡先E-mail：chura-med@w3.u-ryukyu.ac.jp

募集要項配布・応募書類提出先：<https://chura-med.com>



プログラムが育成する人材像

県内の製造業・IT企業等から、新たに医療分野に参入しうる実装実現できる人材を育成します。医療現場のニーズ・課題を理解し、医療デバイスや医療サービスを構想・設計・実装・展開できる人材や、従来の装置製造にとらわれない医療ソリューションの実装ができる人材を養成し、結果として、県内の医療ものづくりへ寄与する人材の創出を目指す。

受講対象

本プログラムは、医療現場のニーズに基づき、医療機器やサービスの構想・設計・実装・展開を担う人材の育成を目的とし、県内の製造・IT・通信分野において医療分野への参入や展開を目指す技術経験のある実務者・実装担当者と、課題を抽出する医療者を対象とします。（詳細は募集要項をご覧ください）。

<製造業・IT企業従事者（実務者）>

- (1) 製造業における設計・開発・製造・品質管理等の実務担当者
- (2) IT・通信分野におけるシステム、IoT、ソフトウェア開発等の実務担当者
- (3) スタートアップや中小企業、新規事業部署等での実装・開発担当者
- (4) 医療分野への営業展開を視野に入れている技術営業担当者

*グループワークでは、医療課題に対する技術的な解決提案やビジネスモデルの構築を担います。

<医療者>

- (1) 医工連携に興味がある医療従事者

*グループワークでは、病院、臨床、診療科などにかかる課題を抽出する役割を果たします。

*学生の応募は不可

カリキュラム

分野	カリキュラム（予定）
医工IT連携に必要な専門科目	医療機器開発、医療情報、医療保険、関連法規、医療DX、医療IoT、医療ロボット、医療機器製造販売業など
医工IT連携のトピック（特論）	国内外の医工IT連携のトピック、協業事例、スタートアップ事例など
選択科目	医学概論、工学概論、情報学概論など
実習	病院見学（手術室、病棟、外来、情報センター、物流など）から課題を抽出する
演習	グループワークを主体としたニーズ選定から開発、展開、販路などを学ぶ

※全カリキュラムを受講し修了基準を満たした方には内閣府担当大臣より修了証が交付されます

スケジュール（予定）

日付	予定
7月16日～8月7日	公募期間
8月中旬～8月末	選考
9月初旬～1月末	開講、オンデマンド研修、対面研修、病院見学、医療体験など
1月中旬	報告会 修了証交付

※カリキュラム・スケジュールは予告なく変更となる場合があります。

応募方法

chura-medサイト（<https://chura-med.com>）より、募集要項を入手し、内容をご理解の上、応募ページから応募してください。